

ひとり情シスのIです。

Windows7からWindows10へ移行の続きです。

昨日はPCハードの話だったので、今日はソフトの話です。Windows7からWindows10に移行する過程で、近い将来にサポート切れになる、あるいはWindows10では動作保証していないソフトがあると買い替えないとはいけません。調べ方は保持しているソフトを順番に調べます。

その前に知っておかなければならないこととして、ソフトは買い切りからサブスクリプション形式への移行が現在のトレンドとなっております。昔は一度買えば、OSの仕様変更等で動かなくなるまで使用できましたが、今はそうはいきません。

Autodeskはすべての製品で期限付きのサブスクリプション形式で、Adobeもほぼすべての製品で期限付きのサブスクリプション形式になっております。Microsoftやジャストシステムは徐々に移行中ですが、恐らくあと2、3年で買い切りのソフトは無くなると思われれます。特に誰もが使うソフトがそういう傾向になってきています。

それでは、上記4社の製品サポートの具体的な確認方法の説明です。

Microsoft Office等、マイクロソフト社製品の場合は、以下HPの「製品のライフサイクルの検索」から名称を入力して検索します。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/lifecycle/search>

Office2010は来年10月13日で期限が切れるため、Windows7をWindows10にしても、9か月程度でOfficeを入れなおさなければなりません。

ジャストシステムは以下から検索します。所有しているアプリ名とバージョンで、サポート終了か、Windows10に対応しているかどうかを調べることができます。

<http://support.justsystems.com/jp/list/index.html>

Adobeは以下から製品名で検索します。延長サポート期間の終了を過ぎていたら、新しいのを買う必要が出てきます。

<https://helpx.adobe.com/jp/support/programs/eol-matrix.html>

Windows10に対応しているかは、以下の検索窓から、「必要システム構成」と製品名で検索するとよいです。

<https://helpx.adobe.com/jp/support.html?promoid=RGJ8NLP8&mv=other>

Autodeskは2016年にすべてのソフトがサブスクリプションに移行したため、それ以前に購入したソフトは、保守プランを契約し継続で契約していない限りは、サポートはありません。

Windows10に対応しているかどうか、動作環境は以下で確認できます。

<https://knowledge.autodesk.com/ja/support/system-requirements>

上記にはない、ほかのメーカーのソフトも情報は公開しているので、その会社のホームページ等を検索してみるとよいでしょう。

それでは、また明日。(I)